

NEWS LETTER

Mリーグ 赤坂ドリブンズ・渡辺太プロが ドワンゴ開発の麻雀 AI の思考を徹底分析！ 『渡辺太×麻雀 AI「NAGA」 AI が迷う何切る 80』 3月1日発売

株式会社ドワンゴは、麻雀プロの渡辺太（最高位戦日本プロ麻雀協会／Mリーグ・赤坂ドリブンズ所属）と、当社の機械学習技術開発・研究部門「Dwango Media Village」で麻雀 AI「NAGA」（読み：ナーガ）の開発を手掛けたエンジニアの小田桐優理（読み方：おだぎりゆうり）が共著した書籍『渡辺太×麻雀 AI「NAGA」 AI が迷う何切る 80』（KADOKAWA）が、2025年3月1日（土）に発売されることをお知らせします。

「NAGA（Neural Architectural Game Agent）」（https://naga.dmv.nico/naga_report/top/）は、オンライン対戦麻雀「天鳳」の高段位者の牌譜から、打牌の選択、副露の選択などを深層学習した麻雀 AI で、高レベルなプレイヤーをモデルにした戦術の異なる 5 タイプの AI を備えています。

本書では、NAGA の AI のひとつ「オメガ」タイプの 100%モデルかつ「ニシキ」タイプの 33%モデルでもあり、麻雀 AI を用いて研究を進めている渡辺太プロが、NAGA の 5 タイプで判断が分かれた 80 の実践局面について、渡辺太プロ自身の打牌選択の判断理由や NAGA の各タイプの判断の違いを詳しく解説します。また、開発責任者の小田桐優理が NAGA の開発背景や各タイプの特徴、NAGA の各バージョン/タイプが天鳳で残した実績や現在の強さの推定値、天鳳と Mリーグとのフィールドの違いなどを紹介します。

本書を通して、読者は実践で求められる多面的な視点を養いながら「思考の幅」を広げることが期待できます。麻雀の戦術理解を深めたい人や、AI の視点から麻雀を学びたい人におすすめの一冊です。

<著者・渡辺 太からのコメント>

普段から使わせてもらっている NAGA の本を開発者の小田桐さんと書かせていただくことになるとは思いませんでした。とても光栄です。本書では NAGA とどのように対話しているかを私が打った実戦を題材にたくさんの局面を解説、検討しました。麻雀 AI ってどんなものだろうと興味を持っていただけるきっかけになれば嬉しいです。

<著者・小田桐 優理（株式会社ドワンゴ 技術本部 ML エンジニアリング部 部長 / NAGA プロジェクト責任者）からのコメント>

本書は、各 NAGA タイプ間で判断が分かれた実践局面について、人類最高峰クラスの麻雀プレイヤーである渡辺太プロが考察する内容となっております。NAGA のタイプ間で判断が割れる局面は考慮すべき要素が複合しているケースが多く、多面的に考えるべき実践的な「悩む局面集」です。

ぜひこの機会にお手に取っていただき、渡辺太プロの洞察と各 NAGA タイプの判断を比較しながらご覧いただければと思います。



書籍概要

タイトル	渡辺太×麻雀 AI「NAGA」 AI が迷う何切る 80
著者	渡辺 太、小田桐 優理
発売日	2025年3月1日（土）
価格	1,540円（本体1,400円＋税）
書籍仕様	四六判 / 198ページ
出版社	発行・発売：KADOKAWA
URL	https://www.kadokawa.co.jp/product/322311000197/

お問い合わせ先

株式会社ドワンゴ 広報部：宮田／E-mail：dwango-pr@dwango.co.jp